Doc. No.	EXT 025U-05

yamada

取 扱 説 明 書

ウェルドフィルターユニット

FUC-105（50Hz） No.R620451
FUC-106（60Hz） No.R620551
FUC-205（50Hz） No.R621251
FUC-206（60Hz） No.R621351

⚠ 警告

安全のため、本製品のご使用の前には必ずこの取扱説明書を熟読し、記載されている重要警告事項をよく理解してください。
また、本取扱説明書をいつでも使用できるよう大切に保管してください。

YAMADA CORPORATION

− はじめに

本書は、お使いになる本製品が故障なく充分に皆様のお役に立ちますことを念願として、正しい使用方法とご使用上の注意について説明したものです。この説明書を読む前に本製品の操作を行わないでください。特に、注意事項を熟読されると共に、常に手元においてご活用ください。なお、ご使用中に不明な点、不具合などありましたら、お買い上げの販売店、または裏面記載の弊社営業所までご連絡ください。

− 使用目的

本製品は、移動や設置が容易な主に溶接ヒュームを吸引・濾過する装置です。車両の排気ガスなどの吸引、水や油などの液体の吸引、多量の水分や油分を含む粉塵の吸引にはご使用できません。また、本製品で捕集することができるのは粉塵などの粒子状物質のみで、ガス成分の浄化は行うことができません。

− 警告・注意事項

本製品を安全にお使いいただくために、以降の記述内容を必ずお守りください。
本書では、警告・注意事項を絵によって表示しています。これは本製品を安全に正しくお使いいただき操作を行う方や周囲にいる方々に加えられる恐れのある人身事故や、周囲にある物品への損害を未然に防止するための目印となるものです。その表示と意味は次のようになっています。内容をご理解いただくようによくお読みください。

⚠ **警告：** この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡する可能性または重傷を負う可能性があることを示しています。

⚠ **注意：** この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性があること、および物的損害が発生する可能性があることを示しています。

また、危害や損害の内容を示すために、上記の表示とともに以下の絵表示を使用しています。

この表示は、してはいけない行為（禁止事項）であることをあらわしています。表示の脇には具体的な禁止内容が示されています。

この表示は、必ずしたがっていただく内容であることをあらわしています。表示の脇には具体的な指示内容が示されています。

－ 使用上の注意

下記の警告・注意事項は大変重要ですので、必ず守ってください。

⚠ 警告

- 本製品は防雨型ではありません。故障や感電などの原因となりますので屋外での使用はおやめください。
- 屋内で使用する際にも高温多湿になる場所での使用はおやめください。密閉された場所を避け、水平で風通しの良い場所で使用してください。
- 本製品の不必要な分解や改造は行わないでください。充電部やモーター回転部などに接触し、事故や感電などの原因となります。
- 本製品の内蔵フィルターを取外した状態での使用はおやめください。吸引した溶接ヒュームなどが濾過されずに大気中に放出され危険です。
- 本製品のフロントドアとリヤドアおよびコントロールドアが開いている状態での使用または使用中に各ドアを開けることはやめてください。吸引した溶接ヒュームなどが大気中に放出され危険です。
- 本製品の空気出口をふさぐことはやめてください。溶接ヒュームなどが吸引されず、作業者の健康を害する恐れがあります。
- 本製品は防爆仕様ではありません。爆発や引火などの原因となりますので油庫内など可燃性雰囲気中での使用はおやめください。
- 引火性や爆発性あるいは発火性物質を吸引しますと、火災または爆発あるいは粉塵爆発を起こします。下記のような粉塵を絶対に吸引しないでください。
  - 引火性物質 ： ガソリン、シンナー、ベンジン、灯油など
  - 爆発性物質 ： ニトログリセリンなど
  - 発火性物質 ： アルミニウム、マグネシウム、亜鉛、チタンなどの爆発性金属
    赤リン、黄リンなど
- 本製品をパレットから降ろす際には必ず付属の要領書を見ながら行ってください。
- 本製品は水平な場所で車輪をロックして使用してください。車輪のロックをしていなかった場合、本製品が自然に動きだし危険です。
- 本製品を移動させる際には車輪のロックをはずし、ホース部は持たずに本体の取っ手を手で押しながらゆっくり行ってください。本体の取っ手を手で引きながら本製品を移動させると本製品が転倒する恐れがあり危険です。
- 水平ではない場所を移動させる場合、確実に本体の取っ手を持っていないと本製品が自然に動きだし危険です。
- 故障した場合、必ず当社指定のサービス担当による修理を受けてください。部品交換や修理が適切に行われないと本製品の性能が引き出せないばかりか、火災や再故障、感電による死亡の可能性があります。

⚠ 注意

- 大きなウエスや新聞紙などは吸引しないでください。ホース内に詰まり、本製品が使用不能になる可能性があります。
- オイルや水分を多く含むゴミや粉塵などは吸引しないでください。

⚠ 注意

- 溶接作業などの火花が発生する作業で本製品を使用する場合、ホースへの火花侵入による火災を防止するため必ずフードにスパークプロテクションフィルター（オプション品）を取付けてください。また、スパークプロテクションフィルターはその性能を維持させるため、使用前に必ず清掃してください。
- 本製品の電源コードにはコードコネクタは付属していません。適合した三相 200V コードコネクタをご用意ください。
- 本製品の配線は電気の有資格者が行ってください。
- 本製品のエアガンにはエアホースは付属していません。適合した 3/8 エアホースをご用意ください。
- 本製品は定期的なメンテナンスを行うことで、その性能を維持することができます。必ず日常点検を実施し、定期的に当社指定のサービス担当によるメンテナンスを受けてください。
- 本製品の作動中は騒音が 75dB に達することがあります。長時間使用する場合は必要に応じて耳栓やイヤーマフなどを装着してください。
- 有害な粉塵を吸引する場合やフィルターを洗浄または交換する場合、あるいはダストボックスからゴミ袋を回収する場合には、取扱いを誤ると微細な粉塵が大気中に飛散する可能性がありますので、防護マスクや保護メガネなどの保護具を装着してください。
- フィルターを交換する場合やダストボックスからゴミ袋を回収する場合には、必ず電源を切り、コードコネクタをコンセントから抜いた状態で行ってください。不意にファンが動きだし微細な粉塵を撒き散らす原因となります。
- エアガンによるフィルター洗浄をする場合のエア圧は 0.3～0.4MPa で行ってください。0.4MPa を超えるエア圧で使用した場合、フィルターの損傷の原因となります。
- フィルター洗浄をする場合のエアはオイルなどが混入していないドライエアを使用してください。
- エアガンによるフィルター洗浄をする場合、フードのダンパーを閉じてから行ってください。
- 使用済のフィルターは各自治体の条例などに従って廃棄してください。
- 本製品のアームを回転させる場合には、周囲に人やぶつかるものがないか確認してから行ってください。
- 本製品を初めて使用する際には、必ずファンの羽根の回転方向を確認してください。適切な回転方向でない場合、本製品の性能が十分に発揮されません。
- 本製品を使用する場合には必ずフードのダンパーを開いてから使用してください。
- 使用前にダストボックスを確認し、使用状況に応じてゴミ袋ごと破棄し、ダストボックス内を清掃してください。ダストボックスにゴミが溜まっていますと、フィルター性能の低下やゴミが飛散する原因となります。
- 1 分間以内に起動スイッチの ON-OFF 繰り返しの操作は行わないでください。ファンの故障の原因となります。
- 本製品は溶接ヒュームの吸引・濾過を目的としているためガスの濾過はできません。
- 本製品のアームの回転やフードの首振りはホースを手で支えながらゆっくり行ってください。勢いよく行いますと、ホースの内面がアームに擦れてホースの損傷の原因となります。

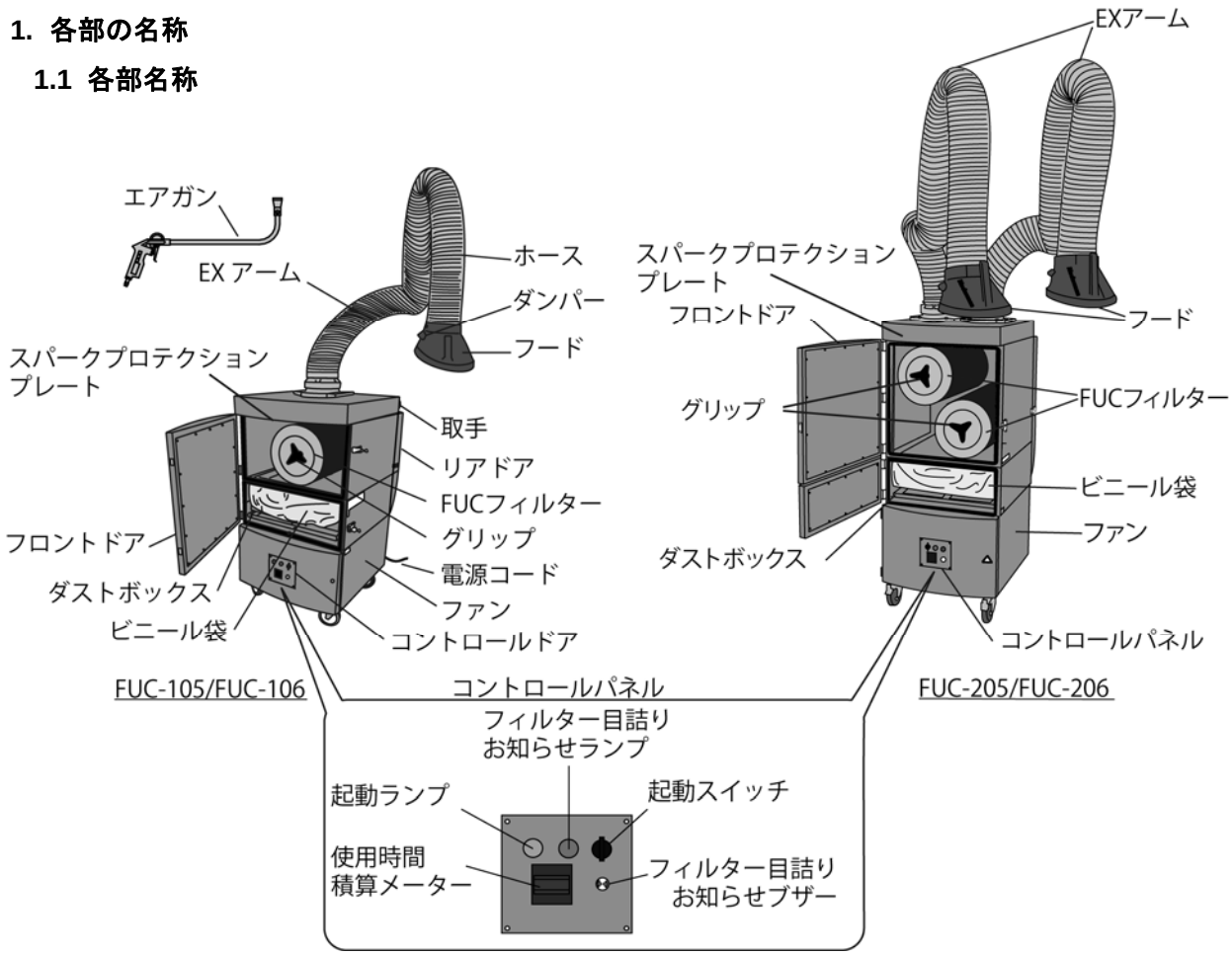
目次

- はじめに
- 使用目的
- 警告･注意事項
- 使用上の注意
- 目次

1. 各部の名称
   - 1.1 各部名称 …… 1
   - 1.2 梱包内容 …… 1
2. 使用前の準備
   - 2.1 設置 …… 2
   - 2.2 アームとフードの取付け …… 2
   - 2.3 配線 …… 3
3. 使用方法 …… 4
   - 3.1 フィルターの洗浄方法 …… 5
   - 3.2 フィルターの交換方法 …… 5
   - 3.3 ダストボックスからのゴミ袋回収方法 …… 6
4. 保守･点検
   - 4.1 メンテナンス …… 7
   - 4.2 消耗品など …… 7
5. 仕様 …… 8
6. 不具合内容 FAX シート …… 9
7. 製品保証登録 FAX シート …… 10
8. 保証規定 …… 11

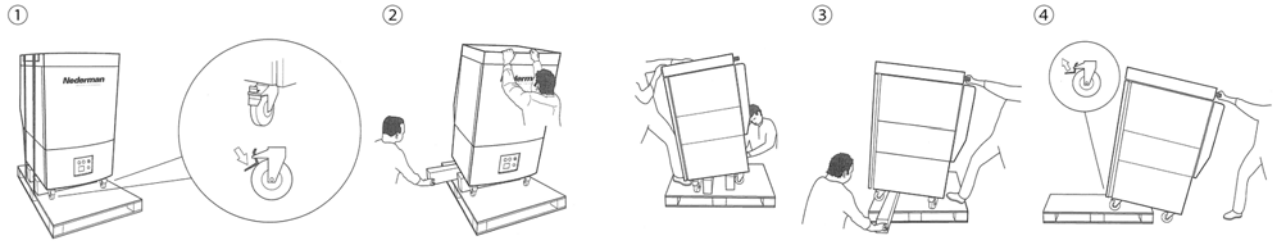
1. 各部の名称

1.1 各部名称

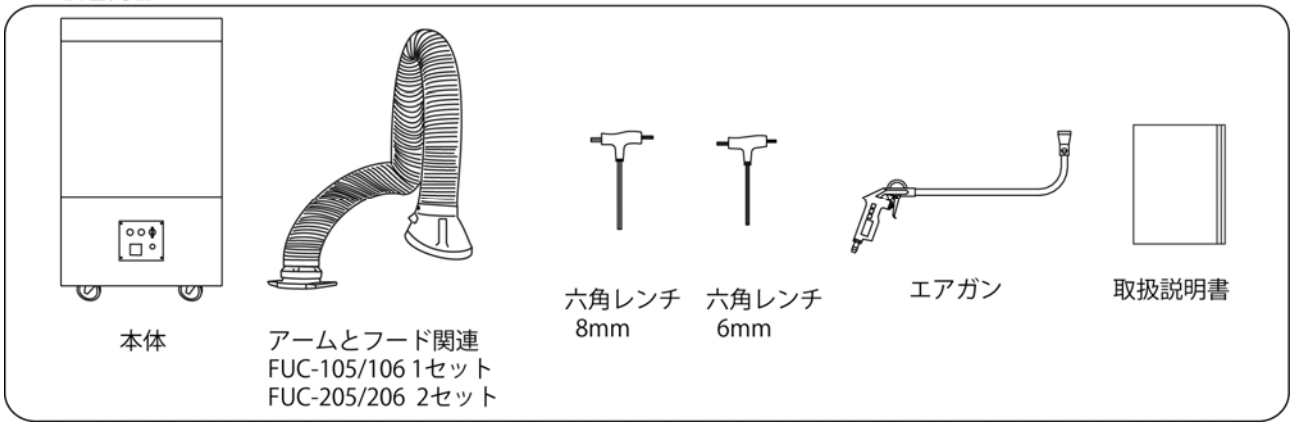


1.2 梱包内容

車輪のロックを使用し、本製品を安全に降ろしてください。
輸送中に本製品本体に損傷がないことを確認してください。
また、アームとフードなどが梱包されている箱を開梱し、欠品がないこととホースなどに損傷がないことを確認してください。



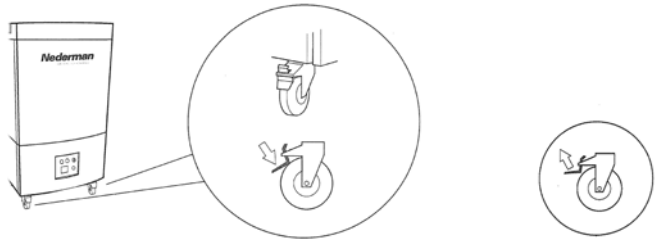
梱包内容



2. 使用前の準備

2.1 設置

・ 本製品は屋内に設置してください。屋外での使用はできません。
・ 本製品を移動する時は、車輪のロックをはずし、ホース部は持たずに本体の取っ手を手で押しながら行ってください。設置時は必ず車輪をロックしてください。

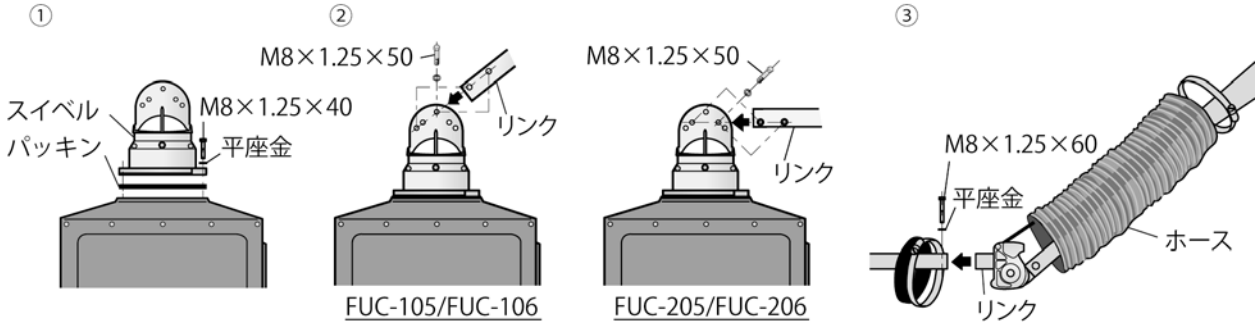


設置時（ロックする）　　移動時（ロック外す）

2.2 アームとフードの取付け

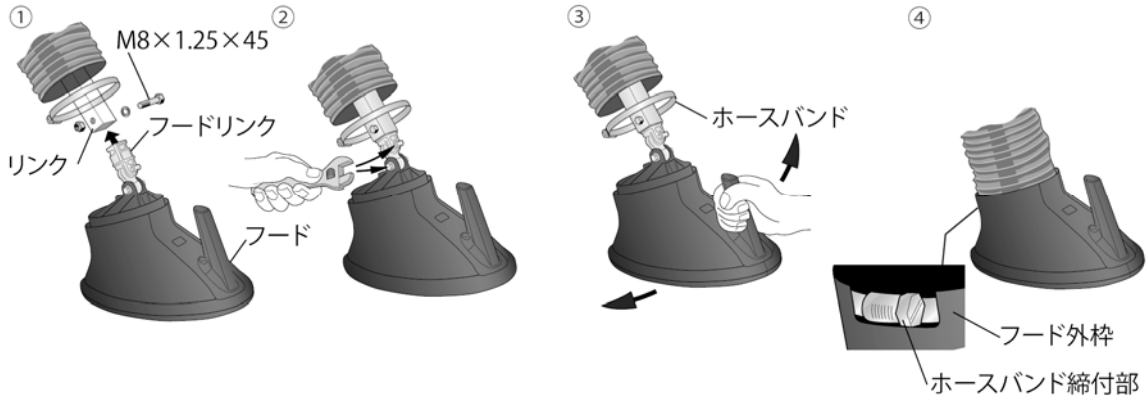
アームとフードを取付けてください。

1) アームを以下の順に取付けてください。



①間にパッキンを挟んでスイベルをボルトで取付けてください。
②スイベルに設けられた穴とアーム先端のリンクの穴位置を合わせ、M8×50 ボルト 2 個で取付けてください。
上図の通り FUC-105/FUC-106 と FUC-205/FUC-206 ではリンクの取付方向が異なりますので、ご注意ください。
③M8×60 のボルトを通しリンクを取付けてホースを取付けてください。

2) フードをホースに以下の順に取付けてください。



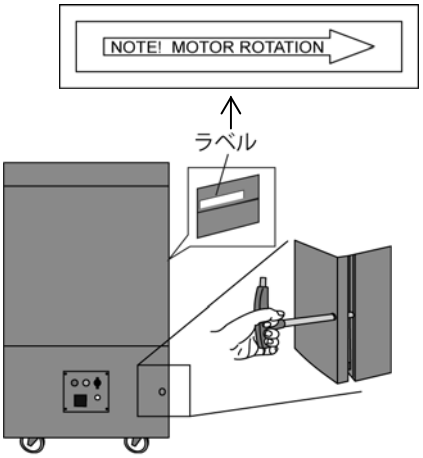
①フード上端部のフードリンクの穴とアーム先端のリンクの穴位置を合わせ、ボルトで固定してください。
②フードリンクのボルトを調整して位置を固定してください。
③フードのホース接続部は内枠・外枠の間にホースを挟む構造となっています。フードの取っ手を持ち上げ、内枠・外枠の間にホースを挟んで接続してください。
④ホースの上側からフード内枠をホースバンドで締付けて固定してください。ホースバンド締付部は、別図で示すようにフード外枠の隙間に入れてください。

2.3 配線

⚠注意

- 電気配線作業は必ず有資格者が行ってください。

1) 本製品のラベルをチェックし、供給電源が同じであることを確認してください。
2) 本製品の電源コードにはコードコネクタは付属していません。電源コードに適合した三相 200V のコードコネクタを取付けた後、コンセントに接続してください。
3) 付属の 6mm 六角レンチでコントロールドアを開けてください。
4) コントロールパネルの起動スイッチを『O』から『Ｉ』に回してファンを起動させてください。
5) およそ 30 秒後に起動スイッチを『Ｉ』から『O』に戻してファンを停止させてください。
6) コントロールボックスの上部にファンの羽根の適切な回転方向を示す矢印ラベルがありますので、ファンの羽根がその矢印と同じ方向に回転していることを確認してください。矢印と逆方向にファンの羽根が回転している場合は、逆相になっています。電気配線作業の有資格者がコードコネクタで相を入れ替えてください。



⚠注意

- 適切な回転方向でない場合、本製品の性能が十分に発揮されません。

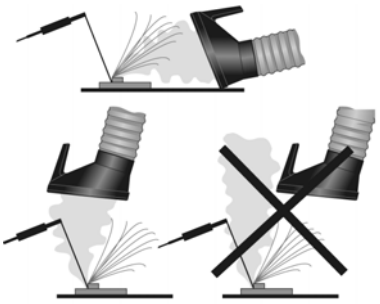
3. 使用方法

⚠警告

- 引火性や爆発性あるいは発火性物質を吸引しますと、火災または爆発あるいは粉塵爆発を起こします。下記のような粉塵を絶対に吸引しないでください。
  引火性物質 ： ガソリン、シンナー、ベンジン、灯油など
  爆発性物質 ： ニトログリセリンなど
  発火性物質 ： アルミニウム、マグネシウム、亜鉛、チタンなどの爆発性金属
  赤リン、黄リンなど
- 本製品の空気出口をふさぐことはやめてください。溶接ヒュームなどが吸引されず、作業者の健康を害する恐れがあります。
- 本製品は水平な場所で車輪をロックして使用してください。車輪のロックをしていなかった場合、本製品が自然に動きだし危険です。

⚠注意

- オイルや水分を多く含むゴミや粉塵などは吸引しないでください。
- 本製品は溶接ヒュームの吸引・濾過を目的としているためガスの濾過はできません。
- 溶接作業などの火花が発生する作業で本製品を使用する場合、ホースへの火花侵入による火災を防止するため必ずフードにスパークプロテクションフィルター（オプション品）を取付けてください。
- 本製品を使用する場合には必ずフードのダンパーを開いてから使用してください。
- 右図のように、火花を吸引しないようフードの位置を調整してください。ヒュームのみを回収できる位置で使用してください。
- 1 分間以内に起動スイッチの ON-OFF 繰り返しの操作は行わないでください。ファンの故障の原因となります。



■本製品には過負荷防止装置が内蔵されています。
ファンのモーターに過大な負荷がかかった場合、本製品が自動的に停止します。過負荷防止装置によって停止した場合、しばらくした後に装置が自動的に解除され本製品が使用できる状態に戻ります。

■本製品にはフィルターの目詰りをお知らせする機能が装備されています。
フィルターが目詰まり状態になった場合、『フィルター目詰りランプ』が点灯し、『フィルター目詰りブザー』が鳴ります。
そのような場合には、付属のガンでフィルターを洗浄してください。
洗浄後、フィルターを戻して本製品を起動させてもなお『フィルター目詰りランプ』が点灯し、『フィルター目詰りブザー』が鳴った場合はフィルターを新しいものに交換してください。

1) コントロールパネルの起動スイッチを『O』から『Ⅰ』に回してファンを起動させてください。起動している間は『起動中ランプ』が点灯し、『使用時間積算メーター』も作動します。
2) 溶接作業を行い、作業が終了したら起動スイッチを『Ⅰ』から『O』に戻してファンを停止させてください。『起動中ランプ』が消灯し、『使用時間積算メーター』も停止します。

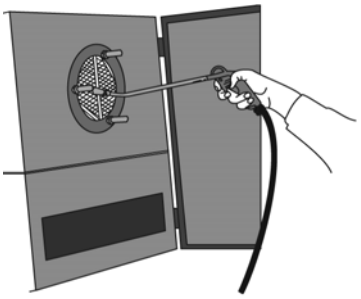
3.1 フィルターの洗浄方法

⚠ 注意

- フィルターを洗浄する場合、必ず電源を切り、コードコネクタをコンセントから抜いた状態で行ってください。不意にファンが動きだし微細な粉塵を撒き散らす原因となります。
- フィルター洗浄をする場合のエア圧は 0.3～0.4MPa で行ってください。0.4MPa を超えるエア圧で使用した場合、フィルターの損傷の原因となります。
- フィルター洗浄をする場合のエアはオイルなどが混入していないドライエアを使用してください。
- フィルター洗浄をする場合、防護マスクや保護メガネなどの保護具を装着してください。
- フィルター洗浄をする場合、フードのダンパーを閉じてから行ってください。

コントロールパネルの『フィルター目詰りランプ』が点灯し、『フィルター目詰りブザー』が鳴った場合は下記の手順でフィルターを洗浄してください。

1) 電源コードをコンセントから抜いて本製品への電源を断ってください。
2) フードのダンパーを閉じてください。
3) リヤドアを開けてください。
4) 付属のエアガンを使用してフィルターの内側から表面全体におよそ 10 分程度エアを吹きかけください。
5) リヤドアを閉め、電源コードをコンセントに差し込み本製品への電源を投入してください。
6) フードのダンパーを開けて、コントロールパネルの起動スイッチを『O』から『Ⅰ』に回してファンを起動させてください。
7) 『フィルター目詰りランプ』が消灯し、『フィルター目詰りブザー』が鳴らないことを確認してください。洗浄しても『フィルター目詰りランプ』が点灯し、『フィルター目詰りブザー』が鳴った場合はフィルターを新しいものに交換してください。



3.2 フィルターの交換方法

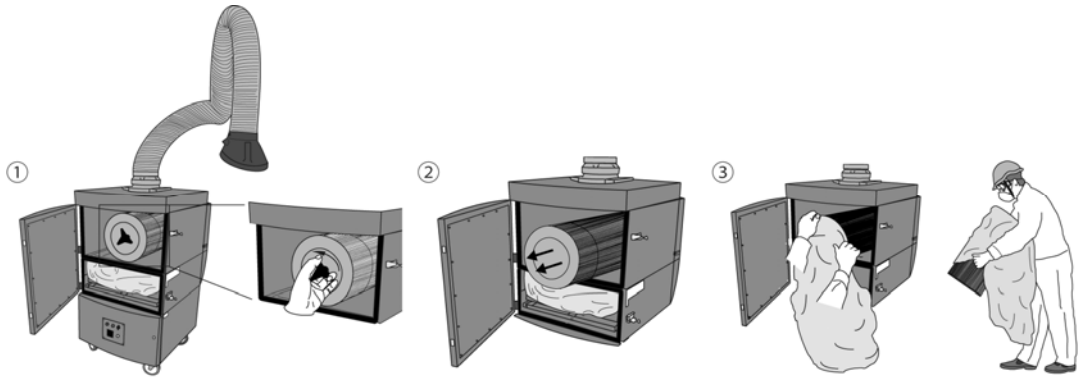
⚠ 注意

- フィルターを交換する場合、必ず電源を切り、コードコネクタをコンセントから抜いた状態で行ってください。不意にファンが動きだし微細な粉塵を撒き散らす原因となります。
- フィルターを交換する場合、防護マスクや保護メガネなどの保護具を装着してください。
- 使用済のフィルターは各自治体の条例などに従って廃棄してください。

日常点検時に損傷や変形が目視にて確認できる場合や、洗浄しても『フィルター目詰りランプ』が点灯し、『フィルター目詰りブザー』が鳴った場合には下記の手順で新しいフィルターに交換してください。

1) フィルターが収納できるゴミ袋をあらかじめ用意してください。
2) 電源コードをコンセントから抜いて本製品への電源を断ってください。
3) フロントドアを開けてください。
4) フィルター中央にあるグリップを緩めて、フィルターを取出して用意したゴミ袋に収納してください。
5) 内部を布などできれいに清掃してください。
6) 新しいフィルターを取付け、グリップを締めてください。

7) フロントドアを閉め、電源コードをコンセントに差し込み本製品への電源を投入してください。
8) コントロールパネルの起動スイッチを『O』から『Ｉ』に回してファンを起動させてください。
9) フィルター目詰りランプ』が消灯し、『フィルター目詰りブザー』が鳴らないことを確認してください。フィルターを交換しても『フィルター目詰りランプ』が点灯し、『フィルター目詰りブザー』が鳴った場合は当社指定のサービス担当に連絡をしてください。



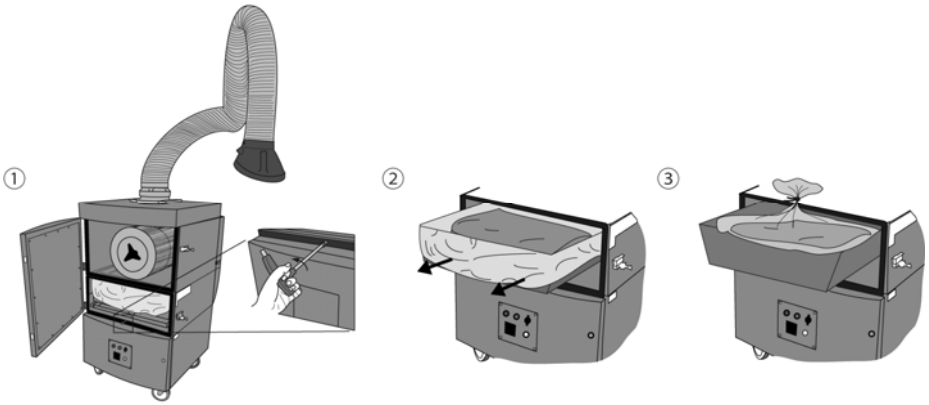
3.3 ダストボックスからのゴミ袋回収方法

⚠注意

- 使用前にダストボックスを確認し、使用状況に応じてゴミ袋ごと破棄し、ダストボックス内を清掃してください。ダストボックスにゴミが溜まっていますと、フィルター性能の低下やゴミが飛散する原因となります。
- ダストボックスからゴミ袋を回収する場合は、必ず電源を切り、コードコネクタをコンセントから抜いた状態で行ってください。不意にファンが動きだし微細な粉塵を撒き散らす原因となります。
- ダストボックスからゴミ袋を回収する場合は、防護マスクや保護メガネなどの保護具を装着してください。
- ゴミ袋が重くなっていることがありますので、ダストボックスからゴミ袋を回収する作業は 2 人で行ってください。

ダストボックスからゴミ袋を回収する場合は、下記の手順で行ってください。

1) 電源コードをコンセントから抜いて本製品への電源を断ってください。
2) フロントドアを開けてください。
3) 付属の 8mm 六角レンチでダストボックス中央にある六角穴付きボルトを緩めると、ダストボックスが少し下がり、ゴミ袋を取出しやすくなります。
4) ダストボックスを手前に引き出し、ゴミ袋を取出してください。取出したゴミ袋はゴミが飛散しないように紐でくくってください。
5) 新しいゴミ袋でダストボックス全体を覆うように取付けてください。
6) ダストボックスを奥に収納し、六角穴付きボルトで締めつけていくと、ダストボックスが元の位置に戻り密閉されます。このとき、六角穴付きボルトの締めつけが不十分であるとダストボックスの脇からゴミが侵入して内部が汚れるとともに、ダストボックスが取出しにくくなりますので注意してください。
7) フロントドアを閉め、電源コードをコンセントに差し込み本製品への電源を投入してください。
8) コントロールパネルの起動スイッチを『O』から『Ｉ』に回してファンを起動させてください。



4. 保守・点検

4.1 メンテナンス

少なくとも１年に１回を推奨します。

⚠警告

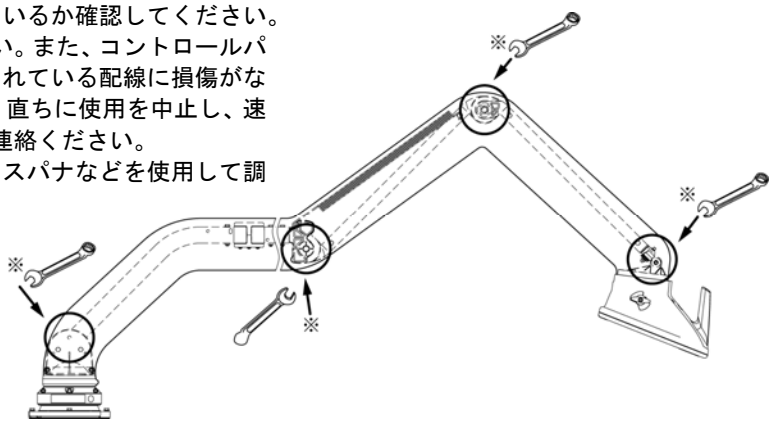
- 電源が不要なメンテナンスを行う場合、必ず主電源をコンセントから抜いてください。

⚠注意

- メンテナンス中のケガを防止するため、必要に応じて手袋・保護メガネ・防塵マスクなどを装着してください。

本製品を使用する前に必ず下記の日常点検を実施してください。

- 本製品の吸込み量が著しく低下していないかフード開口部で確認してください。著しく低下している場合、フィルターの洗浄もしくは交換を行ってください。
- フロントドアを開けて、下記の項目を確認してください。
  ・ダストボックス底面にある網に異物が引っ掛かっていないことを確認してください。
  ・ダストボックスを確認し、使用状況に応じてゴミ袋ごと破棄し、ダストボックス内を清掃してください。
  ・差圧測定用のチューブに亀裂がなく、確実に取付けられていることを確認してください。
  ・フィルターに損傷や変形がないか確認してください。損傷などがあった場合、フィルターを交換してください。
- ホースに切れや劣化がないか確認してください。切れなどがあった場合、速やかに交換してください。
- スパークプロテクションフィルターを使用している場合、使用前に必ず清掃してください。
- フードのダンパーを操作し、適切に機能しているか確認してください。
- 電源コードに損傷がないか確認してください。また、コントロールパネルを開け、コントロールボックスに接続されている配線に損傷がないか確認してください。損傷があった場合、直ちに使用を中止し、速やかに本製品を購入された販売店などにご連絡ください。
- 必要に応じて、右図※印の箇所の締付力を、スパナなどを使用して調整してください。



4.2 消耗品など

■消耗品

部品番号	部品名称	仕　様
R375379	FUCフィルター	PTFE製，表面積=12m^2
R333026	ホース	ϕ160，3m
R375395	コントロールパネル	FUC-105用(コントロールボックスとセット品 50Hz用)
R375942		FUC-106用(コントロールボックスとセット品 60Hz用)
R376373		FUC-205用(コントロールボックスとセット品 50Hz用)
R376375		FUC-206用(コントロールボックスとセット品 60Hz用)
R375392	ビニール袋	10枚入

■オプション品

部品番号	部品名称	仕　様
R551335	スパークプロテクションフィルター	オリジナルフード用

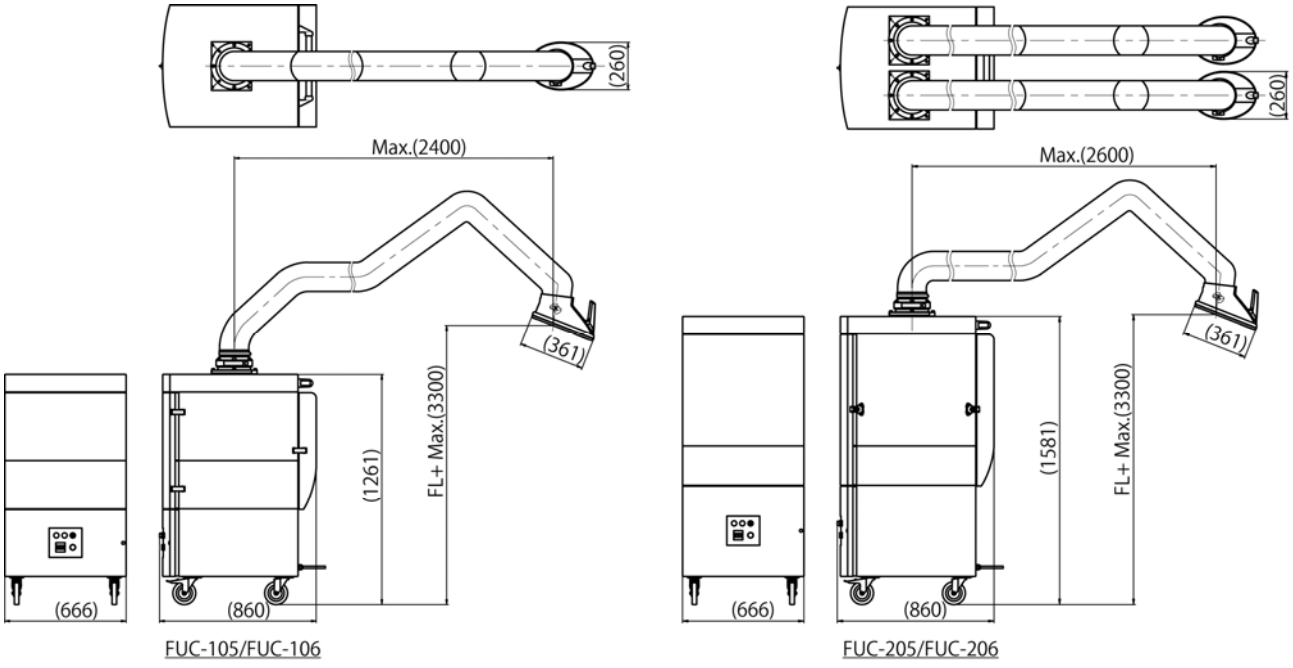
5. 仕様

■仕様

製品名称	ウェルドフィルターユニット			
製品型式	FUC-105	FUC-106	FUC-205	FUC-206
製品番号	R620451	R620551	R621251	R621351
電　源	三相 AC200V			
電源周波数	50 Hz	60 Hz	50 Hz	60 Hz
製品推奨使用風量	500～900 m^3/h		500～900 m^3/h×2	
ファンモーター出力	1.1 kW		2.2 kW	
ファン定格電流値	4.9 A		10.1A	9.1A
最高吸引温度	60℃			
FUCフィルター表面積	12 m^2		12 m^2×2	
FUCフィルター濾過率 ※	99 %			
エアガン接続用ホース径	3/8			
エアガン使用圧力	0.3～0.4 MPa			
質　量	約189 kg		約273 kg	
騒　音	72 dB		75 dB	

※メーカー試験による（テスト粉末 ： 石英粉末、平均粒子径 ： 2μm）

■主要寸法



6. 不具合内容 FAX シート

不具合･故障の原因を追求するために、及び修理サービスの充実を図るために必要となりますのでお手数ですが下記の FAX シートに必要事項を記入して、弊社営業所宛てに送信してください。

不具合内容 FAX シート	
フリガナ 貴社名 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿	フリガナ ご担当者名 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
フリガナ ご住所 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿	 ご所属 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ ご連絡先 Tel.　（　　）＿＿＿＿－＿＿＿＿＿＿ Fax.　（　　）＿＿＿＿－＿＿＿＿＿＿
製品名	型式
使用期間 20　年　月 ～　年　月	SERIAL No. （LOT No.）
運転頻度　□連続 □断続　hr／日･週･月	購入年月日 購入販売店
機器の状態（不具合の内容）	

7. 製品保証登録 FAX シート

・お手数ですが、下記の FAX シートをコピーして必要事項をご記入の上、弊社宛てにご送信ください。
（フリガナ指定の箇所は、必ずご記入ください。）

製品保証登録 FAX シート

フリガナ 貴社名 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿	フリガナ ご担当者名 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
フリガナ ご住所 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿	 ご所属 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ ご連絡先 Tel. （ ）＿＿＿＿－＿＿＿＿＿＿ Fax. （ ）＿＿＿＿－＿＿＿＿＿＿

■貴社の業種を下記より選んで〇で囲んでください。

1.ガソリンスタンド	2.自動車整備業	3.自動車部品製造
4.車両・造船業	5.製鉄業	6.機械加工業
7.機械製造業	8.電気機械器具製造	9.半導体製造業
10.化学・プラント	11.建築・土木	12.塗料・インキ製造業
13.薬品・樹脂	14.食品製造業	15.塗装業
16.鉄道・バス・運輸業	17.窯業・陶器製造	18.印刷産業
19.鋳造業	20.石油産業	21.電気部品製造
22.軽金属・非鉄	23.織物・家具	24.バルブ

25.その他（詳しくご記入ください。＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ ）

■本製品をお知りになったきっかけを〇で囲んでください。

新聞	1.日刊工業新聞	2.日本工業新聞	3.日経産業新聞
	4.日刊自動車新聞	5.燃料油脂新聞	6.その他の新聞
雑誌	7.IEN	8.化学装置	9.IPG　10.その他の雑誌
	11.販売員に薦められて	12.展示会	13.カタログで

ご購入年月日	＿＿＿年 ＿＿＿ 月 ＿＿＿ 日	ご購入目的 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
ご購入販売店		ご使用条件
製品名（型式）		
製品番号		
SERIAL No.		
LOT No.		

宛先　**株式会社 ヤマダコーポレーション**
営業部　製品保証登録係
TEL. 03-3777-4101
FAX. 03-3777-3328

8. 保証規定

本製品は、厳重な検査に合格した後、皆様のお手元にお届けしております。取扱説明書、本体注意ラベルなどの注意書に従って正常なご使用をされたにも拘わらず保証期間内に万一、弊社の責任に基づく故障が起こりました場合には、納入日より１２か月を保証期間として、当該品を無償にて欠陥部品の手直し、修理、または新品と交換させていただきます。
ただし、二次的に発生する損失の補償及び次の場合に該当する故障についての保証は対象外とさせていただきます。

1.保証期間：製品を納入申し上げた日より起算して１２か月間といたします。
2.保証内容：期間中に、本製品を構成する純正部品の材料、もしくは製造上の欠陥が表われ、弊社がこれを認めた場合、修復費用は全額負担いたします。
3.適用除外：期間中であっても、下記の場合には適用いたしません。
(1) 純正部品以外の部品を使用された場合に発生した故障。
(2) 使用・取扱上の過失による故障、保管・保安上の手入れ不十分が原因による故障。
(3) 製品の構成部品を腐食・膨潤、または溶解する様な液剤を使用されて生じた故障。
(4) 弊社、または弊社の販売店・指定サービス店以外の手によって分解修理がなされた場合。
(5) 製品に弊社以外の手によって改造・変更が加えられ、これが原因で発生した故障。
(6) パッキン、O リングなどの消耗部品の摩耗。
(7) お買上後の輸送、移動、落下などによる故障及び損傷。
(8) 火災、地震、水害、及びその他天災、地変などの不可抗力による故障及び損傷。
(9) 不純物や過度のドレンが混入した圧縮エアを動力として使用したり、指定の圧縮エア以外の気体・液体を動力として使用した場合に発生した故障。
(10) 定格値を超える電源にて使用された事により発生した故障及び損傷。
(11) 過度に摩耗性を有する材料や、本製品に不適当な油脂を使用された場合の故障。
(12) 日本国外においてご使用の場合。
尚、本製品及びその付属品に使用されているゴム部品等、あらゆる自然損耗する部品、消耗部品ならびに下記部品については、保証の適用から除外させていただきます。
・ホース類　　・各種パッキン類　　・コード類
4.補修部品：補修用部品の最低保有期間は、製造打ち切り後５年とさせていただきます。製造打ち切り後５年を経過したものにつきましては、供給いたしかねる場合もございますので、何卒ご了承ください。

MEMO.

製品に対するお問い合わせは、下記営業所にお願い致します。

株式会社ヤマダコーポレーション

本社・営業部	〒143−8504 東京都大田区南馬込 1 丁目 1 番 3 号	TEL（03）3777−4101（代）	FAX（03）3777−3328
札幌営業所	〒062−0002 札幌市豊平区美園二条 6 丁目 3 番 16 号	TEL（011）821−0630（代）	FAX（011）821−0949
仙台営業所	〒981−3137 宮城県仙台市泉区大沢 2 丁目 2 番 3 号	TEL（022）343−9410（代）	FAX（022）343−9411
東京営業所	〒143−8504 東京都大田区南馬込 1 丁目 1 番 3 号	TEL（03）3777−3171（代）	FAX（03）3777−6770
名古屋営業所	〒463−0052 名古屋市守山区小幡宮ノ腰 7 番 38 号	TEL（052）795−0222（代）	FAX（052）795−0444
大阪営業所	〒537−0025 大阪市東成区中道 3 丁目 15 番 2 号	TEL（06）6971−5301（代）	FAX（06）6974−0497
広島営業所	〒731−5128 広島市佐伯区五日市中央 3 丁目 3 番 9 号	TEL（082）275−5852（代）	FAX（082）275−5853
福岡営業所	〒812−0888 福岡市博多区板付 5 丁目 18 番 14 号	TEL（092）581−5477（代）	FAX（092）581−6524

YAMADA　AMERICA Inc.	955 E.ALGONQUIN RD., ARLINGTON HEIGHTS, IL 60005,USA	TEL 1−847−631−9200
YAMADA　EUROPE B.V	Aquamarijnstraat 50−7554 NS Hengelo(O), The Netherlands	TEL 31−0−74−242−2032
雅玛达(上海)泵业贸易有限公司	上海市浦东新区金桥路 2690 弄 48 号 7 号门	TEL 86−21−3895−3699

201401 EXT025U